

申請者	学科名	デザイン工学科	職名	教授	氏名	村木 克爾	
調査研究課題	中小企業の価値向上に資する無形経営資産の活用に関する調査研究						
調査研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担		
	代表	村木克爾	デザイン学部 教授	マネジメント工学	リーダー		
	分担者	山下明美	デザイン学部	教授	色彩Design	Visual Communication	
		高戸仁郎	情報工学部	教授	人間工学	Human Interface関連	
		山本登志子	保健福祉学部	教授	生化学	生体安全性関連分野	
		アンソニー・ブルネリ	デザイン学部	准教授	言語学	デザイン技法関連分野	
		三原鉄平	デザイン学部	准教授	プロダクトデザイン	Branding Produce関連分野	
		市川正美	情報工学部	准教授	振動解析	機械工学関連分野	
上田篤嗣		デザイン学部	助教	グラフィックデザイン	Graphical Design関連分野		
榎尾聡美	デザイン学部	助教	造形Design	形状・機能関連分野			
調査研究実績の概要	<p>平成28年度の地域貢献特別研究では、提案型共同研究をベースにする地域企業へのアプローチと、既に地域コンソーシアムとして我々が独自に立ち上げているMoDDネットに参加あるいは賛同する企業を中心にした活動を産学官連携推進センターと緊密な連絡を取りつつ協調をして実施した。以下に平成27年度に県内企業を対象に実施された主な成果について述べる。</p> <p>□ ホテルリゾート下電グループ ゆのこう美春閣〔美作市〕</p> <p>岡山県が9年ぶりのデスティネーションキャンペーンの対象自治体となった平成28年は「晴れの国おかやまデスティネーションキャンペーン」が行われた。それを一つの視野に入れた同グループ傘下の「ゆのこう美春閣」の開業15周年に向けた新たなブランディングの一環としてロゴマークの刷新に関して締結した共同研究の結果を公表した〔右図、次頁 上左〕。</p> <p>これは同グループ参加の下電ホテルと我々が数年前に行った共同研究の成果を考慮した上での同グループからの申し込みであり、継続的な地域貢献の成果のひとつであり、本共同研究の進行の様子も以下に添える〔次頁 上右〕。</p>						

地域貢献への反映を踏まえて記述のこと



調査研究実績
の概要

地域貢献への
反映を踏まえ
て記述のこと



□ 富士アイ・エム・シー株式会社〔岡山市〕 右写真

吸音、断熱、緩衝の諸性質を持つ広範囲の工業製品の加工製造する同社の主力製品であるウレタン製フルーツキャップに高い衝撃緩衝・保護機能を付加しつつ他社と差別化が可能な洗練された見栄えを持つラッピング資材の開発に関する意見交換を行った。



□ 井原精機を中心とする共同組合井原ものづくり研究部会〔井原市〕



井原精機株式会社など6社が、井原市内企業の活性化をはかるとともに井原市の知名度・魅力の向上を目指すために、共同で設立した「共同組合井原ものづくり研究部会」の開発・販売事業の第一号である介護用椅子「楽タッチいす」計画に携わり、機能的、デザインの、人間工学的な面からの共同研究に着手している。

□ その他 下写真

数社の企業訪問を行って、自社開発・共同研究についての意見交換を行った。



平成28年度において、MoDDチームを中心に行った地域貢献活動もまた全て新たなブランド展開に関連する新製品の開発に関係するものであり、中小規模に分類される企業の切実な希求がうかがえ、それらに対して些かの貢献をできたものとする。またMoDDネットに関連している企業を対象とした活動も例年と同様のレベルで行った。